



おひさま通信

11月

今月の予定

1	日	
2	月	
3	火	
4	水	乳児 身体測定
5	木	幼児身体測定 絵本貸し出し
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	内科検診
10	火	
11	水	運動会ごっこ(2歳)
12	木	運動会ごっこ予備日 絵本貸し出し
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	発表会予行① 絵本貸し出し
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	芋煮会
26	木	発表会予行② 絵本貸し出し
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

芋煮会…保育園の里芋を使って、お汁を作ります。幼児3クラスがそれぞれお手伝いをします。クッキング用品持参などまたお知らせします。

しろくまのホットケーキやぐりとぐら
(カステラ)なども同じように楽しめます

コロナ禍の中、今年度が始まり半年。食欲の秋の到来です。園庭の渋柿はオレンジ色に色づきおいしい吊るし柿になりそうですよ。また生き物は、越冬の準備をはじめています。春から観察をしたアゲハ蝶は、今年最後の卵を産み付けその幼虫はさなぎで越冬します。幼虫は葉っぱをモリモリ食べていますよ。私たちもしっかり食べ、運動をして、免疫力をつけて、冬に備えましょう。

《読書の秋》今年度の親子貸し出しは中止をしていますが、子どもたちは、自分で絵本をかり、お家に帰って絵本を一緒に見てもらっています。お家の方に読んでもらうのがうれしいのか、2階で絵本選んで絵本バッグに入れて満面の笑顔で2階から降りてきます。その笑顔を見るたびに、お家の方とのかかわりを想像して嬉しくなります。

絵本にはどんな力があるのでしょうか？

- 日常経験できない体験が詰まっています。それが子どものイメージ力を広げ、気持ちの成長を育ててくれます。
- 知識を得ることもできます。
- 一番大切なことは、一緒にお家の方に読んでもらうかかわりの中で愛着関係が深まり、心の根っこ(自尊感情)が育くまれることです。

図書館を利用するなど、様々な方法で絵本に親しんでください

どんぐり団子 作 小宮山 洋夫

この絵本との出会いは、私が幼稚園に就職して2年目、5歳児の担任をしていた時、です。園では月間こどものともシリーズを毎月よみかせをしていました。10月になると裏山のどんぐりが落ちて、子どもたちは、



様々な遊びにチャレンジ。この絵本が届き読み進めると、

「えー。どんぐり、食べれる。やってみたい。」と…子どもたちとかたい皮をむき、ゆでて。後は大人の仕事。私が四苦八苦していると、子どもから「お母さんがつくってみるといってる」と手伝ってもらうことになりました。(今は食の安全確認などがあり、このような活動で食べるまで進めるのは難しいです) 食べると、「渋い」

「(お砂糖ときなこでまぶしたので) 甘いよ」など、楽しい体験でした。この話を食育の小山先生とすると、他園で20年前に活動をした写真をみせてくれ、職員でこの食育研修をしようと提案をもらいました。子どもの力もかりる予定です。掲示をお楽しみに！

1冊の絵本の出会いで人とつながり、ひろがっています。

ひよこ組



吹く風が、涼しさから少しずつ寒さへと変わり、新しい季節の到来を感じるようになりましたが、体調を崩す子どもも少なく9人全員そろって元気に登園しています。

最近ではテラスに出て遊ぶことが多く、自分で靴を取り保育士に持ってくるような姿も見られるようになりました。テラスではジャングルジムや登り板、滑り台などの粗大遊具でいっぱい体を動かして遊んでいます。ハイハイだった子ども、1歩2歩と徐々に歩けるようになり、“体を動かすこと”を楽しんでいます！

また友達と一緒に“いないいないばあ”をしてニコニコ笑い合ったりと、友達とコミュニケーションを取る姿も見られるようになってきました！

これからさらに寒くなる季節、負けずに元気いっぱい過ごしていきたいと思います！！



うさぎ組

朝夕とすっかり涼しくなり、気温の変化から体調を崩しやすくなってきました。衣服も半袖から長袖になり、園庭で遊んだ後、排泄後の手洗いでは、子どもたちにも「袖をギューっとあげてね。」と袖が濡れないように声をかけ、見守るなど習慣になるように勧めています。また、園庭で遊ぶことも多くなり自分たちで靴下や靴を上手に履くようになってきました。履けない子ども「やってみよう」「できたよ」という気持ちが持てるよう、保育士が少し援助すると頑張っています。友だちと言葉のやり取りも少しずつ増えてきて「〇〇ねえ～」と仲良く遊ぶ姿もみられるようになってきました。同じように真似をしてお互い目が合うとニコニコ笑顔を見せて喜ぶ風景が微笑ましいです。



ぺんぎん組

上靴を履いての生活にも少しずつ慣れてきた子ども達！！今では履き忘れていたり、反対に履いている友達を見つけると「うわぐつ わすれてるでー」、「まちがってる、はんたいやで。」と教え合っている姿が見られます。履くときに左右が間違っていないか「あってる？」と確認し、意識する子ども。子ども達にとって、生活習慣が身につくには、毎日同じように過ごすことがどれほど大切かが、子どもの成長から感じられますね。

いよいよぺんぎん組さんも、運動会ごっこの日が近づいてきました。子ども達から「どんぐりみつけたよ しよー」と言ってくるほど、体操を楽しんでいますよ。当日、どんな姿を見せてくれるのか、わくわくドキドキ楽しみです！！

